

地域連携センター一年報

第 14 号（令和 2 年度）



愛知県立大学
Aichi Prefectural University

地域連携センター年報第14号（令和2年度）の刊行にあたって

この度の新型コロナウイルス感染症という未曾有の災害において亡くなられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、社会のため人命のためにこのコロナ禍においても日々奮闘くださっている方々に深く敬意と感謝を表したいと存じます。

愛知県公立大学法人が策定する第三期中期目標・中期計画(平成31年4月1日～令和7年3月31日)には、愛知県立大学の「基本的な方向性」として、「人材育成等を通じて地域のために貢献するという役割を十分に果たす」こと、「地域を支える人材の育成、地域との連携や地域への貢献を推進するために、自治体、他大学、産業界などとの連携の一層の強化を目指す」こと、そしてそのような視点から、「社会の変化に的確に対応し、地域を担う人材の育成や地域への貢献を一層推進する」ことが示されています。本学は、「大学の強みや特色を生かし、地域の持続的な発展に貢献することにより、存在感と信頼感のある『地域の重要な教育研究機関として活躍する大学』」としての役割を果たしてまいりました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながら、センター長補佐、研究支援・地域連携課職員と一丸となって、〈新しい地域連携・貢献〉の方法を模索することになりました。前期は対面での公開講座等を中止・延期・Web配信への変更とせざるを得ませんでしたが、急遽体制を整え、後期には地域の皆様の要望に応え、感染予防を徹底した上で公開講座を開催し、同時にWeb配信や講座参加費の無料化など、地域とのつながりを持ち続ける工夫をしました。参加者からの「困難な中でも開催してくれてありがたい」「遠方からでも参加できるのがうれしい」などの声が励みとなりました。この取組はNHKでも取り上げられました。〈愛知県との連携〉としては、昨年度に引き続いて関係部局との意見交換会を実施し、今年度から新たに始まった共同研究等を通して、地域の課題解決への具体的対応を検討しています。〈市町村との連携〉としては、近隣市が実施する提案型事業へ参加した学生グループを支援し、本学「災害弱者支援プロジェクト」と連動させてSDG's Aichi EXPOにて活動紹介をしました。〈他大学(名古屋市立大学、愛知工業大学等)との連携〉も大きく前進しました。さらに〈本学教員の地域貢献活動支援〉にも力を入れ、優れた実践を本学のブランドとして発信しました。その他、1年間の取組を本年報に詳細に記録しておりますので、ぜひご覧になり、忌憚のないご意見・ご鞭撻をお寄せいただければ幸いです。

最後になりましたが、宇都宮は地域連携センター長としての3年の任期を終えます。1年目は学内の基盤整備の年とし、学生・教職員の地域連携・貢献活動のサポート体制の充実と地域連携への機運の醸成を行いました。2年目は学外への展開の年とし、愛知県の関連部署や大学連携のニーズが高い自治体とのつながりの強化を図り、県下自治体におけるシンクタンク(政策研究・提案機関)として、ともに発展する関係構築を目指しました。3年目は地域連携・貢献活動の定着と発展の年とし、関係機関との地道な会合を重ねると同時に、引継を意識しながら新たな地域課題への取組の種も蒔きました。産学連携については長年の組織上の課題がありましたが、学内の組織改革が進められ、来年度以降は、学術研究情報センターにおいて、協定を締結している企業とのさらなる連携強化や本学の特性を生かした産学連携が強力に進められる予定です。地域連携センターの業務は、学内外の多くの皆様のお力添えなしでは何一つ達成することはできませんでした。お世話になった皆様に、この場を借りて心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。

来年度以降も、皆様の変わらぬご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

令和3年3月

愛知県立大学地域連携センター長 宇都宮 みのり

報告書目次

1	組織と運営	1
2	地域連携センター活動状況	8
3	教員等による地域貢献	
(1)	自治体への委員推薦及び講師派遣等に関する コーディネート実績	10
(2)	教員等による地域連携・地域貢献の取組実績	11
4	公開講座	
(1)	学術講演会・連続公開講座	14
(2)	地域連携事業	17
	＜ミニ公開講座＞	18
	高大連携事業	34
	＜地域貢献活動＞	36
5	自治体等との連携	
(1)	愛知県	39
(2)	長久手市	42
(3)	日進市・豊田市	44
(4)	他大学等	45
6	参考資料	48

1. 組織と運営

地域連携センター紹介

○地域連携活動を推進する愛知県立大学の総合的な窓口として、
次のような業務を行っています。



愛知県立大学地域連携センター規程

(趣旨)

第1条 この規程は、愛知県立大学学則第6条の規定に基づき設置される地域連携センター（以下「センター」という。）の運営に関する基本的事項について定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、地域連携活動を円滑かつ組織的に推進することを目的とする。

(組織)

第3条 センターの下に産学連携推進室を置く。

(業務)

第4条 センターは、その目的を達成するために、次に掲げる業務を行う。

- (1) 行政との連携に関すること。
- (2) 他大学・研究機関等との連携に関すること。
- (3) 産業界との連携に関すること。
- (4) 小・中・高等学校との連携に関すること。
- (5) NPO等各種団体との連携に関すること。
- (6) 学術講演会、公開講座の企画・立案・実施に関すること。
- (7) 学術文化交流センターの管理・運営に関すること。
- (8) その他センター長が適当と認めた業務

(センター長)

第5条 センターに、センター長を置く。

2 センター長は、学長の命を受け、センターの業務を掌理する。

3 センター長の任期は3年とし、再任を妨げない。ただし、学長の任期を超えることはできない。

また、任期の途中でセンター長が交替した場合は、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

4 センター長に事故がある場合は、センター長が予め指名したセンター長補佐がセンター長の職務を代理する。

(センター長補佐)

第6条 センターに、センター長補佐を置くことができる。

2 学長は、センターの運営に必要と判断した場合、センター長と協議の上、センター長補佐を指名することができる。

3 センター長補佐は、センター長の命を受け、センター長の職務を補佐する。

4 センター長補佐の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、学長の任期を超えることはできない。

また、任期の途中でセンター長補佐が交替した場合は、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター運営会議)

第7条 センターの業務を円滑に運営するため、センター運営会議を置く。

2 センター運営会議は次の者をもって組織し、議長はセンター長をもって充てる。

- (1) センター長
- (2) 看護実践センター長
- (3) センター長補佐
- (4) 産学連携推進室長
- (5) 学術情報部長
- (6) その他センター長が必要と認めた者

3 運営会議はセンター長が召集する。

(産学連携推進室)

第8条 産学連携推進室（以下「推進室」という。）は、第4条第3号の規定による業務を推進する。

2 前項の推進室に関して必要な事項は、別に定める。

(庶務)

第9条 センターの庶務は、研究支援・地域連携課で行う。

(補則)

第10条 この規程に定めるセンターの運営に関し必要な事項は、学長が定める。

附則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附則

(施行期日)

この規程は、令和元年11月26日から施行する。

(任期に関する経過措置)

- 1 この規程の施行の際現にセンター長及びセンター長補佐の職にある者の任期については、改正前の規定を適用する。
- 2 この規程の施行の日から令和3年3月31日までの間にセンター長補佐の職に就いた者の任期については、改正後の規定にかかわらず、令和3年3月31日までとする。

令和2年度 地域連携センター運営会議構成員名簿

所 属	氏 名	
議長（地域連携センター長）	宇都宮 みのり	教育福祉学部
看護実践センター長	小松 万喜子	看護学部
地域連携センター長補佐	鈴木 隆	外国語学部
地域連携センター長補佐	三宅 宏幸	日本文化学部
地域連携センター長補佐	田村 佳子	教育福祉学部
地域連携センター長補佐	佐々木 敬泰	情報科学部
産学連携推進室長	小林 邦和	情報科学部
学術情報部長	日置 英鋭	

地域連携センター庶務

所 属	氏 名
研究支援・地域連携課長	川島 香織
研究支援・地域連携課係長	三宅 貴子
研究支援・地域連携課主事	上嶋 綾音
研究支援・地域連携課	稲生 由佳

愛知県立大学産学連携推進室要綱

(趣旨)

第1 この要綱は、愛知県立大学地域連携センター規程第3条に基づき、地域連携センター（以下「センター」という。）に設置する産学連携推進室（以下「推進室」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2 推進室は、産学連携活動を円滑かつ組織的に推進することを目的とする。

(業務)

第3 推進室は、その目的を達成するために、次に掲げる業務を行う。

- (1) 産学連携を推進する事業の企画・実施及び広報
- (2) 共同研究等の窓口業務
- (3) 知的財産に関する支援業務
- (4) その他室長が必要と認める業務

(組織)

第4 推進室は、次の者をもって組織する。

- (1) 室長
- (2) 地域連携センター長
- (3) 地域連携センター長補佐
- (4) 情報科学部選出教員
- (5) 室長が指名する事務職員
- (6) その他室長が必要と認めた者

2 室長は、地域連携センター長が前項第2号から第4号に掲げる者の中から指名する。

(顧問)

第5 推進室に、顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、産学連携に高い見識を有する学外者の中から地域連携センター長が委嘱する。
- 3 顧問は、推進室の活動に対して助言を行うとともに、学外の機関等との渉外にあたる。
- 4 顧問の任期は、1年とし、再任を妨げない。

(庶務)

第6 推進室の庶務は、県大総務課の協力を得て研究支援・地域連携課が担当する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

令和2年度 産学連携推進室運営会議構成員名簿

所 属	氏 名
室長（情報科学部選出）	小林 邦和
地域連携センター長	宇都宮 みのり
地域連携センター長補佐	鈴木 隆
地域連携センター長補佐	三宅 宏幸
地域連携センター長補佐	田村 佳子
地域連携センター長補佐	佐々木 敬泰
看護実践センター長	小松 万喜子
事務職員（学術情報部長）	日置 英鋭
事務職員（研究支援・地域連携課長）	川島 香織
事務職員（研究支援・地域連携課係長）	三宅 貴子
事務職員（研究支援・地域連携課主事）	上嶋 綾音
事務職員（研究支援・地域連携課）	稲生 由佳

2. 地域連携センター活動状況

月日		運営会議・委員会等	行事・活動
4月	6日	第1回センター運営会議・第1回産学連携推進室運営会議	
	15日		令和2年度あいちSTEM能力育成事業「知の探究講座」開催中止決定
	27日	愛・地球博記念公園と愛知県立大学との包括連携協定に関するフォローアップ会議(書面)	
5月	8日～13日	第2回センター運営会議(メール)	
	8日～29日	あいちスポーツコミッション2020年度総会(書面)	
6月	8日		令和2年度連続公開講座「県大アゲイン」開催中止発表
	8日～14日	第3回センター運営会議(メール)	
	13日	第1回認知症カフェミーティング	
	20日		第1回認知症カフェ
7月	8日	第2回認知症カフェミーティング	
	10日～14日	第4回センター運営会議(メール)	
	11日		ミニ公開講座「多文化社会の異文化『終活』を考えるセミナー」(オンライン)
	18日		第2回認知症カフェ
8月	12日	第3回認知症カフェミーティング	
	21日		ミニ公開講座「発達障がいフォーラム」(オンライン)
	23日		ミニ公開講座「連続セミナー「多文化共生を促進する地域・社会的連携の取り組み」第1回『地域で支える医療・保健衛生』と多文化共生」(オンライン)
	25日	第1回長久手市大学連携調整会議	
9月	2日	第4回認知症カフェミーティング	
	8日	第5回センター運営会議・第2回産学連携推進室運営会議(オンライン)	名古屋市志段味古墳群歴史の里との共催事業「しだみゅーシンポジウム」開催中止決定
	8日		瀬戸商工会議所共催PC講座の開催中止決定
	19日		連続公開講座大災害から命を守る第1回「災害／尊厳／文化」(オンライン併用)
	19日		第3回認知症カフェ
	25日	あいち新事業活動促進連携会議	
	26日		LINKtopos2020(全国公立大学学生大会) in Okayama/Online(オンライン)
10月	8日	第6回センター運営会議・第3回産学連携推進室運営会議(オンライン)	
	13日	あいちシルバーカレッジ卒業生向け専門コース設置 第1回検討委員会	
	14日		ミニ公開講座「世界展開する海外日本研究者に学ぶ」(オンライン)
	14日	第5回認知症カフェミーティング	
	17日		わくわく体験リモツアーズ2020秋
	24日		連続公開講座大災害から命を守る第2回「濃尾大震災と全国からのボランティアの発生」(オンライン併用)
	24日		第4回認知症カフェ
	28日		ミニ公開講座「学習・生活支援事業の論点:教育と福祉の(協力)と(対立)」(オンライン)
11月	31日		連続公開講座大災害から命を守る第3回「大災害時に行われる医療とその限界」(オンライン併用)
	2日～5日	第7回センター運営会議(メール)	
	3日～30日		地域貢献活動「愛知県立大学国際関係学科『旅の写真展』」
	4日		ミニ公開講座「和装本講座」
	7日		学術講演会「不完全で完全なワタシ」(オンライン併用)
11月	8日		学術講演会「大災害から命を守る ～情報社会、超高齢社会の防災・減災～」(オンライン併用)

月日		運営会議・委員会等	行事・活動
11月	8日		ミニ公開講座「連続セミナー「多文化共生を促進する地域・社会的連携の取り組み」第2回『With コロナ』時代の労働市場と外国人材の育成」(オンライン)
	12日	第6回認知症カフェミーティング	
	14日		ミニ公開講座「第1回 世界史セミナー『第一次世界大戦とヨーロッパ東部地域の再編』」(オンライン併用)
	21日		第5回認知症カフェ(オンライン併用)
	23日		ミニ公開講座「国際HAIKUプロジェクト 詩人と俳句一俳句と詩のバイリンガリズム」(オンライン)
	25日		長久手市大学連携4U事業 愛知医科大学公開授業「学生に学ぶ救急蘇生法」(オンライン)
	26日	名古屋市大学連携懇談会	
	29日		ミニ公開講座「第3回 県大国際セミナー」(オンライン)
12月	1日	第8回センター運営会議(オンライン)	
	4日		ミニ公開講座「虐待防止・対応セミナー」(オンライン)
	5日		長久手市大学連携4Uワーキング 愛知淑徳大学「学べる！遊べる！楽しめる！オンライン長久手子ども食堂」(オンライン)
	6日		ミニ公開講座「《災害と文化財》シリーズ5周年シンポジウム 地域の文化財ネットワークを考える」(オンライン併用)
	9日	第7回認知症カフェミーティング	地域貢献活動「年金対話集会」(オンライン併用)
	11日		ミニ公開講座「インドネシア現地経済事情講習会」(オンライン)
	13日		長久手市大学連携4Uワーキング 愛知県立大学「リニモと観光・まちづくりを考える」(オンライン併用)
	13日		長久手市大学連携4Uワーキング 愛知淑徳大学「学べる！遊べる！楽しめる！オンライン長久手子ども食堂」(オンライン)
	16日		愛知工業大学 学生連携事業「防災カフェ」
	19日		第6回認知症カフェ
	19日		長久手市大学連携4Uワーキング 愛知淑徳大学「学べる！遊べる！楽しめる！オンライン長久手子ども食堂」(オンライン)
	20日		ミニ公開講座「連続セミナー「多文化共生を促進する地域・社会的連携の取り組み」第3回『障害者権利条約と多文化共生』」(オンライン)
1月	6日	第8回認知症カフェミーティング	
	7日	第9回センター運営会議・ 第4回産学連携推進室運営会議(オンライン)	
	16日		第7回認知症カフェ
	22日	あいちシルバーカレッジ卒業生向け専門 コース設置 第2回検討委員会	
	26日～29日		ミニ公開講座「もっと知りたいインドネシア語講座」
	28日		長久手市大学連携4Uワーキング 愛知県立芸術大学「町づくりのデザイン」
2月	1日～4日	第10回センター運営会議(メール)	
	6日		長久手市大学連携4Uワーキング 愛知医科大学「災害時のトリアージ・応急手当を楽しく学ぼう」(オンライン)
	10日	第9回認知症カフェミーティング	
	19日	あいち新事業活動促進連携会議(書面会 議)	愛知県地域づくり活動フォーラム(オンライン)
	20日		ミニ公開講座「第2回 世界史セミナー『第一次世界大戦後の国際科学協力体制と日本』」 (オンライン)
	23日		長久手市大学連携4U報告会(オンライン)
	27日		長久手市大学連携4Uワーキング 愛知淑徳大学「第3弾 オンライン長久手子ども食堂 おうちでフェアトレードを学ぼう！」(オンライン)
3月	8日	第11回センター運営会議・ 第5回産学連携推進室運営会議(オンライン)	
	12日	第10回認知症カフェミーティング	
	22日		ミニ公開講座「フランス語圏アフリカ研究セミナー」
	25日	第1回長久手市大学連携調整会議	
	28日		ミニ公開講座「連続セミナー「多文化共生を促進する地域・社会的連携の取り組み」第4回『多文化共生とウェルビーイング』」(オンライン)

3. 教員等による地域貢献

(1) 自治体等への委員及び講師派遣

《自治体の審議会への委員推薦》

○愛知県

- ・リニモ沿線地域づくり会議委員 松宮 朝（教育福祉学部社会福祉学科 准教授）

○長久手市

- ・長久手市大学連携推進協議会委員 愛知県立大学地域連携センター長
長久手市大学連携連絡調整会議委員 松宮 朝（教育福祉学部社会福祉学科 准教授）
- ・長久手古戦場野外活動施設運営委員会委員 丸山 裕美子（日本文化学部歴史文化学科 教授）

《自治体等への派遣及び紹介》

○長久手市「愛知県立大学連携講座」（長久手市くらし文化部生涯学習課）

若松 伸哉（日本文化学部国語国文学科 准教授）

「芥川龍之介の文学世界—芥川作品の「語り」の面白さ—」

（令和3年2月14日・28日実施）

○その他

- ・愛知県「第2回地方行財政セミナー」（令和2年11月9日開催）
清水 宣明（看護学部看護学科 教授）
- ・豊橋市「児童虐待防止講演会」（令和2年11月10日開催）
村田 一昭（教育福祉学部社会福祉学科 准教授）

《その他地域連携コーディネート及び連携事業》

- ・愛知県教育委員会（高大連携事業）
- ・愛知県生涯学習推進センター（公開講座情報の提供、生涯学習講座講師名簿への情報提供）
- ・愛知県都市整備局交通対策課（リニモ沿線地域づくり会議への協力）
- ・愛知県総務局総務部市町村課地域振興室（連携事業の実施）
- ・愛知県福祉局高齢福祉課（認知症パートナー大学、シルバーカレッジへの協力）
- ・愛知県スポーツ局スポーツ振興課（あいちスポーツコミッションへの参画）
- ・愛知県経済産業局産業部産業振興課（あいち健康長寿産業クラスター推進協議会への参加）
- ・愛知県環境局環境政策部自然環境課（あいち生態系ネットワーク協議会への参加）
- ・愛知県陶磁美術館（パートナーシップ事業）
- ・徳川美術館（大学メンバーシップへの参加）
- ・名古屋市教育委員会（大学連携懇談会への参加）
- ・名古屋市中川区福祉部民生子ども課（災害対策事業協定）
- ・長久手市（大学連携推進協議会への参加、相互の事業の周知協力等）
- ・日進市生活安全部市民協働課（提案型大学連携協働事業の実施）
- ・豊田市（共催公開講座の実施）※R2年度は中止
- ・公益財団法人 あいち産業振興機構（あいち新事業活動促進連絡会議への参加）
- ・瀬戸商工会議所（パソコン講習会の実施）※R2年度は中止

（２）教員による地域貢献の取組実績

《カルチャーセンター講師》

○中日文化センター

上川 通夫（日本文化学部歴史文化学科 教授）

「日本の歴史-中世社会の実像」（令和２年４月～令和３年３月）

伊藤 伸江（日本文化学部国語国文学科 教授）

「徒然草を読む」（令和２年４月～令和３年３月）

○NHK文化センター

丸山 裕美子（日本文化学部歴史文化学科 教授）

『風土記』が語る古代史」（令和２年４月～令和３年３月）

○朝日カルチャーセンター

愛知県立大学では、大学での教育研究の成果を県民や社会に対して還元するとともに、高度な要望や知的欲求など県民の多様なニーズに対応するため、朝日カルチャーセンターと提携講座を開催している。

【令和２年度提携講座】

久富木原 玲（学長）

「源氏物語の謎」（令和２年６月～令和３年３月）

「源氏物語『宇治十帖』を味わう」（令和２年６月～令和３年３月）

伊藤 伸江（日本文化学部国語国文学科 教授）

「兼好法師のつれづれなる生活—中世文学の世界」（令和２年６月～令和３年３月）

【その他の講座】

伊藤 伸江（日本文化学部国語国文学科 教授）

「百人一首歌語り～「和泉式部」編」（令和２年６月～令和３年３月）

三宅 宏幸（日本文化学部国語国文学科 准教授）

「日本近世文学を読む～曲亭馬琴『南総里見八犬伝』」（令和３年１月～令和３年２月）

○暮らしの学校（公益財団法人 服部公益財団）

伊藤 伸江（日本文化学部国語国文学科 教授）

「百人一首の世界」（令和２年４月１７日）

《審議会等の委員》（公表されているものから一部抜粋）

○愛知県 愛知県公益認定等審議会、あいちＩＣＴ活用推進本部有識者会議、愛知県私立学校審議会、愛知県学校法人等助成審議会、愛知県いじめ問題調査委員会、愛知県男女共同参画審議会、愛知芸術文化センター運営会議、愛知県介護保険審査委員、愛知県医療審議会、愛知県在宅医療推進協議会、愛知県都市計画審議会、愛知県文化財保護審議会

○長久手市 長久手市放課後子ども教室運営委員会、長久手市平成こども塾運営委員会、長久手市障がい者自立支援協議会、長久手市指定管理者選定委員会、長久手市文化財保護審議会、長久手市多文化共生プラン策定委員会、長久手市地域包括ケア推進協議会

- 名古屋市 名古屋市文化財調査委員会、名古屋市博物館協議会、長久手市都市計画審議会
- その他 小牧市障害者自立支援協議会、岡崎市情報公開・個人情報保護審査会、岩倉市いじめ問題専門員会、岩倉市子ども・子育て会議、西尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会、岐阜県古代・中世寺院跡総合調査検討委員会、国土交通省社会資本整備審議会都市計画・歴史的風土分科会歴史的風土部会

《その他》

愛知県精神医療センター	山田 浩雅（看護学部看護学科 准教授）
院内看護研修の講師「看護研究Ⅰ・Ⅱ」における、看護研究の計画・実践までの講義と助言	
愛知県病院事業庁愛知県がんセンター	片岡 純（看護学部看護学科 教授）
愛知県がんセンターで開催される臨床研究審査委員会および倫理審査委員会に医療専門家の外部委員として参加。	
愛知県看護研修センター	片岡 純（看護学部看護学科 教授）
看護専門学校の教員を養成する講習会で質的研究法に関する講習を実施	
愛知県保健医務局 健康医務部医務課 ころの健康推進室	宇都宮 みのり（教育福祉学部社会福祉学科 教授）
「ひきこもり支援推進会議」におけるひきこもり対策の推進についての助言	
愛知県保健医務局健康医務部医務課	宇都宮 みのり（教育福祉学部社会福祉学科 教授）
「愛知県精神障害者地域移行・地域定着推進協議会委員」への参加及び精神障害がある方の地域移行・地域定着支援に関する助言	
愛知県政策企画局広報広聴課、愛知県観光コンベンション局国際観光コンベンション課、名古屋国際会議場	宮谷 敦美（外国語学部国際関係学科 教授）
多言語による愛知県内の観光資源の広報動画の作成、SDGsの観点から、それぞれの観光資源に関して提案。成果物はYouTube動画、愛知県政策企画局広報広聴課の公式Facebookから発信。	
長久手市福祉部福祉課	宇都宮 みのり（教育福祉学部社会福祉学科 教授）
「長久手市障がい者自立支援協議会」への参加及び障がい福祉施策に関する調査・審議	
長久手市市長公室経営企画課	宇都宮 みのり（教育福祉学部社会福祉学科 教授）
「長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」への参加及び「第2期総合戦略」の策定・策定後の検証についての助言	
なごやナースキャリアサポートセンター	山田 浩雅（看護学部看護学科 准教授）
名古屋市臨地実習指導者講習会の研修講師、精神看護実習指導の実際・指導者の役割・指導方法などに関する講演	
名古屋市精神保健福祉センター	宇都宮 みのり（教育福祉学部社会福祉学科 教授）
「令和2年度ひきこもり支援関係団体連携会議」でのコロナ禍におけるひきこもり支援に関する講演	
名古屋保護観察所	松宮 朝・中尾 友紀 （教育福祉学部社会福祉学科 准教授）
出所者就労支援モデル事業におけるデータ分析、報告書作成	

長野県松本市立博物館分館重要文化財馬場家住宅	服部 亜由未(日本文化学部歴史文化学科 准教授)
馬場家所蔵文書の整理、デジタル化／重要文化財馬場家住宅企画展「馬場治左衛門と道中日記録」への協力、講演会の講師	
瀬戸市	鈴木 拓央(情報科学部情報科学科 准教授)
瀬戸蔵ロボット博への出展	
瀬戸市健康福祉部社会福祉課	宇都宮 みのり(教育福祉学部社会福祉学科 教授)
「瀬戸市障害者地域自立支援委員会」への参加及び障害のある方への地域での支援体制、情報共有、連携の緊密化に関する助言	
碧南市教育委員会文化財課	伊藤 伸江(日本文化学部国語国文学科 教授)
令和2年度歴史系企画展「没後180年 俳人 榎老」(令和3年2月2日から同3月4日開催)に関して、俳諧資料の選択を手伝い、読解の助言をなし、榎老及び資料所蔵者故中根佑治氏との思い出を寄稿した。	
東郷町企画部企画情報課	宇都宮 みのり(教育福祉学部社会福祉学科 教授)
「東郷町総合計画審議会」への参加及び「第6次東郷町総合計画策定」にあたっての調査・審議	
社会福祉法人名古屋総合リハビリテーション事業団	宇都宮 みのり(教育福祉学部社会福祉学科 教授)
愛知県が行う「高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業」の「相談支援体制連絡調整委員会」への参加及び地域生活支援事業に関する助言	
社会福祉法人もえの会	宇都宮 みのり(教育福祉学部社会福祉学科 教授)
社会福祉法人もえの会の監事として法人理事会への出席及び職員への聞き取り、適正業務執行の監査	
株式会社ジェイタウン、ITM 日本語センター、ホアンロン日本語センター、長沼ベトナム ニャンアイニャンアイ老人介護センター、MCHR 外国語センター	宮谷 敦美(外国語学部国際関係学科 教授)
2020年8月22日に、宮谷研究室主催で、「技能実習生&留学生作成ビデオの紹介と日越交流イベント@Zoom もっと知ってほしい 私の自慢」を開催。技能実習生を受け入れている企業関係者や日本語ボランティアとベトナムの日本語研修機関で学ぶベトナム人との交流会を行った。	
ITM 日本語センター	宮谷 敦美(外国語学部国際関係学科 教授)
日本語教育実習生のベトナム人日本語学習者への日本語学習支援の実施	
岩倉市立 五条川小学校	宮谷 敦美(外国語学部国際関係学科 教授)
日本語教室の児童を対象にゼミの学生と共に異文化理解ワークショップの実施。冊子の作成	
いろは日本語の会(ボランティア日本語教室)	宮谷 敦美(外国語学部国際関係学科 教授)
研究各論(異文化コミュニケーション)の履修学生と共に、異文化防災に関するワークショップの実施	

4. 公開講座

(1) 学術講演会・連続公開講座

令和2年度 学術講演会 実施結果①

(公募企画)

1. 講演名：不完全で完全なワタシ
2. 開催日時：令和2年11月7日（土）13:30～15:30
3. 会場：長久手キャンパス S101／オンライン
4. 主催：不安と生の研究会
5. 講師：岡田 美智男 氏（豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授）
6. 司会：奥田 隆史（愛知県立大学情報科学部 教授）
7. 参加者数：190名（一般・学生・教職員）（S101：24名 オンライン：166名）

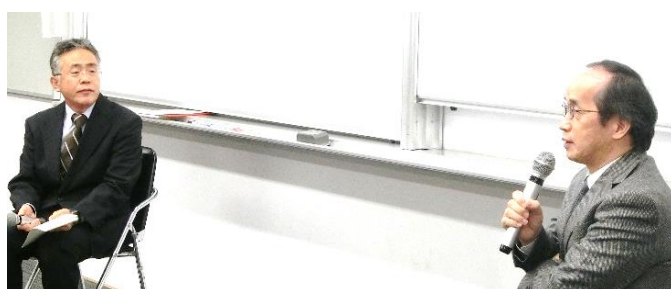
【奥田教授による企画説明】



【講演の様子】



【対談の様子】



【チラシ】



【質疑応答の様子】



令和2年度 学術講演会 実施結果②

(主催企画)

1. 講演名：大災害から命を守る ～情報社会、超高齢社会の防災・減災～
2. 開催日時：令和2年11月8日（日）13：30～15：30
3. 会場：長久手キャンパス S101／オンライン
4. 講師：寶 馨（たから かおる）氏（京都大学大学院総合生存学館 学館長）
5. 参加者数：56名（一般・学生・教職員）（S101：28名 オンライン：28名）

【講演の様子】



【質疑応答】



【学長挨拶】



【チラシ】



WEB (www.burakhi-pu.ac.jp/rankai)
 愛知大学学術センターWEBサイトにアクセス
 していただき、検索ページよりお申込みください。
 FAX (0561-64-1104)
 印刷版申込用紙に記入の上、FAXでお送りください。
 申込書、FAX用紙を記載し、FAXでお送りください。
 申込受付が完了したら、FAXでお知らせします。

お問い合わせ先
 学術センター
 〒466-8601 愛知県長久手市長久手1-1-1
 学術センター
 〒466-8601 愛知県長久手市長久手1-1-1
 学術センター
 〒466-8601 愛知県長久手市長久手1-1-1

令和2年度 連続公開講座 実施結果

1. 講座名：大災害から命を守る
2. 開催日時：第1回 9月19日（土）
第2回 10月24日（土）
第3回 10月31日（土）
3. 開催場所：長久手キャンパス S101／オンライン
4. 受講者数：69名（一般・学生・教職員）
（第1回49名 第2回38名 第3回37名 延べ124名）



<講座内容>

○第1回：受講者数 49名

（S101：12名 オンライン：37名）

「災害／尊厳／文化」

加藤 泰史 氏

（椋山女学園大学コミュニケーション学部 教授
／一橋大学 名誉教授）

大塚 英二（愛知県立大学日本文化学部 教授）



○第2回：受講者数 38名

（S101：11名 オンライン：27名）

「濃尾大震災と全国からのボランティアの発生」

菊池 義昭 氏

（淑徳大学長谷川仏教文化研究所 嘱託研究員）

渡邊 かおり（愛知県立大学教育福祉学部 准教授）



○第3回：受講者数 37名

（S101：11名 オンライン：26名）

「大災害時に行われる医療とその限界

～平時の地域と医療の連携が災害時に命を守る！～

町田 浩志 氏

（原町赤十字病院 救急科部長・医療社会事業部長
／統括 DMAT 登録者

・日本赤十字社災害医療コーディネーター）

清水 宣明（愛知県立大学看護学部 教授）



(2) 地域連携事業

令和2年度実施 地域連携事業リスト

NO.	ミニ公開講座	事業種別	開催日	頁数	参加人数
1	多文化社会の異文化「終活」を考えるセミナー	共催	7/11	18	50
2	発達障がいフォーラム「ウィズコロナ時代の子育てを考える」	共催	8/21	19	30
3	連続セミナー「多文化共生を促進する地域・社会的連携の取り組み」第1回「地域で支える医療・保健衛生」と多文化共生	共催	8/23	20	23
4	世界展開する海外日本研究者に学ぶ	共催	10/14	21	157
5	学習・生活支援事業の論点：教育と福祉の〈協力〉と〈対立〉	共催	10/28	22	60
6	和装本講座	共催	11/4	23	23
7	連続セミナー「多文化共生を促進する地域・社会的連携の取り組み」第2回「With コロナ」時代の労働市場と外国人材の育成	共催	11/8	24	16
☆8	第1回 世界史セミナー 「第一次世界大戦とヨーロッパ東部地域の再編」	共催	11/14	34	29
9	国際 HAIKU プロジェクト 詩人と俳句—俳句と詩のバイリンガリズム	共催	11/23	25	133
10	第3回 国際セミナー	主催	11/29	26	56
11	虐待防止・対応セミナー	共催	12/4	27	50
12	《災害と文化財》シリーズ5周年シンポジウム 地域の文化財ネットワークを考える	共催	12/6	28	82
13	インドネシア現地経済事情講習会	主催	12/11	29	31
14	連続セミナー「多文化共生を促進する地域・社会的連携の取り組み」第3回「障害者権利条約と多文化共生」	共催	12/20	30	68
15	もっと知りたいインドネシア語講座	主催	1/26～ 1/29	31	15
☆16	第2回 世界史セミナー 「第一次世界大戦後の国際科学協力体制と日本」	共催	2/20	35	29
17	フランス語圏アフリカ研究セミナー	共催	3/22	32	30
18	連続セミナー「多文化共生を促進する地域・社会的連携の取り組み」第4回「多文化共生とウェルビーイング」	共催	3/28	33	38
NO.	地域貢献活動	事業種別	開催日	頁数	
1	「瀬戸スペイン語学習教室」支援活動	共催	通年	36	
2	愛知県立大学国際関係学科「旅の写真展」	共催	11月	37	
3	年金対話集会	共催	12/9	38	

☆：高大連携事業

事業種別	件数
主催	3件
共催	18件
事業件数合計	21件

＜ミニ公開講座＞

令和2年度 地域連携事業 実施結果①

1. 事業名称：多文化社会の異文化「終活」を考えるセミナー
2. 事業種別：共催
3. 申請者：山本 理絵（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 教授）
4. 主催：生涯発達研究所・多文化共生研究所
5. 共催：あいち多文化ソーシャルワーカーの会、外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト、多文化ソーシャルワーク・ムーブメント（TSM）
6. 開催日時：令和2年7月11日（土） 13：30～16：30
7. 会場：オンライン（Zoom ミーティング）
8. 登壇者：
 - 〈ブラジルの場合〉
 - 大島ヴィルジニア・ユミ氏（ブラジリアンコミュニティ通訳サポートの会）
 - 〈インドネシアの場合〉
 - ラッフマ・クマラ・デウィ氏（日本インドネシア家族勉強会）
 - 〈中国の場合〉
 - 王榮氏（あいち多文化ソーシャルワーカーの会）
9. 参加者数：50名（一般）

【概要】

愛知県における外国人の「終活」に関する取組について愛知県多文化共生推進室から報告され、在日外国人の「終活」事情としてブラジル、インドネシア、中国の事情について報告された。

最後のディスカッションでは、国籍・地域・文化・宗教・世代等による「終活」の考え方の多様性と共通性に関心を持たれた方が多く、活発な討論がなされた。

【チラシ】

愛知県立大学創設50周年・長久手移転20周年記念事業関連企画

たぶんかしゃい
多文化社会の
いぶんか しゅうかつ かんが
異文化「終活」を考えるセミナー

外国人高齢者は急増しています。
日本で人生を暮らす人も増えていくと考えられます。
“死”に対する考え方は、文化や宗教、習慣、価値観のちがいがによって様々です。
多文化社会では、こうしたことを十分に理解することが大切です。
異文化「終活」は、今後、考えていかなければならない課題です。
このセミナーが、今後の取り組みにつながるよう
参加者といっしょに考えていきたいと思います。

日 時：2020年7月11日（土）
13:30～16:30（受付:13:00～）
方 法：Zoomでのオンラインミーティング
参加費：無料

参加を希望される方は、7月9日（木）までに「セミナー申込」に
明記のうえ、以下のメールアドレスまでお申し込みください。
tabunka.social.movement@gmail.com(TSM事務局)

- 1 セミナーの趣旨説明
多文化ソーシャルワークにおける異文化「終活」の必要性について
- 2 愛知県からの説明
愛知県における外国人の「終活」に関する取組について（愛知県多文化共生推進室）
- 3 在日外国人の「終活」事情
ブラジルの場合：大島ヴィルジニア・ユミ氏（ブラジリアンコミュニティ通訳サポートの会）
インドネシアの場合：ラッフマ・クマラ・デウィ氏（日本インドネシア家族勉強会）
中国の場合：王榮氏（あいち多文化ソーシャルワーカーの会）
- 4 ディスカッション

主催：愛知県立大学生涯発達研究所・多文化共生研究所
共催：愛知県立大学地域連携センター、あいち多文化ソーシャルワーカーの会、外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト、
多文化ソーシャルワーク・ムーブメント(TSM)

令和2年度 地域連携事業 実施結果②

1. 事業名称：発達障がいフォーラム ウィズコロナ時代の子育てを考える
2. 事業種別：共催
3. 申請者：三山 岳（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 准教授）
4. 主催：生涯発達研究所
5. 開催日時：令和2年8月21日（金） 13：30～15：30
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講師：荒井 聡 氏
（豊島区保育園巡回相談アドバイザー
／元駒沢学園駒沢女子短期大学保育科 非常勤講師）
8. 参加者数：30名（一般）

【概要】

講師の荒井氏からは「ウィズコロナ時代において、保育環境は大きく変わったようにも感じるが、発達障がいのある子どもにとって必要なことは子どもにとってリアルな人どうしの関係があるかが重要である。子育て環境との相互作用を紡ぎだすために保護者と保育者が共同して子どもの発達を支えていくことがウィズコロナ時代にはますます大切である」ということが講演で語られた。

【チラシ】

【主催】愛知県立大学生涯発達研究所
【共催】瀬戸市学校教育課
瀬戸市児童発達支援センター 発達支援室
愛知県立大学地域連携センター

発達障がいフォーラム

ウィズコロナ時代の子育てを考える

ウィズ・コロナの時代のもとで、子育てのあらゆる場面で、リスクを減らすこと、可能性をひろげることの両つかいあいが必要になりました。そんな中、特に、発達に障がいのある子どもの可能性を伸ばすにはどうしたらよいか、考えていきます。



日時 2020年8月21日（金） 13:30～15:30

場所 瀬戸市文化センター 第31会議室
(瀬戸市西茨町113-3)

講師 荒井聡さん（豊島区保育園巡回相談アドバイザー）
早稲田大学大学院文学研究科心理専攻卒業
元：駒沢学園駒沢女子短期大学保育科非常勤講師
著書『具体例で学ぶ保育園での保護者支援
—気になる子・障害児をともに育てるために—』（群青社）

参加費 無料

定員 20名

締切 8月7日

申込先 愛知県立大学 地域連携センター

URL <http://www.bur.sci-nippon.ac.jp/runko/regional/ianosa/018233.html>

または右のQRコードよりお申し込みください。



新大学誕生10周年・長久手移転20周年記念事業関連企画/教育福祉学部「地域共生プロジェクト」

令和2年度 地域連携事業 実施結果③

1. 事業名称：連続セミナー「多文化共生を促進する地域・社会的連携の取り組み」
第1回「地域で支える医療・保健衛生」と多文化共生
2. 事業種別：共催
3. 申請者：小池 康弘（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授）
4. 主催：多文化共生研究所
5. 共催：愛知県立大学地域連携センター・NPO法人 地域と協同の研究センター
6. 開催日時：令和2年8月23日（日） 13:00～16:30
7. 会場：オンライン（Zoom ミーティング）
8. 講師：早川 純午 氏（名南ふれあい病院 医師）
9. 登壇者：高田 弥生 氏（アジア保健研修所）
岩本 里美 氏（JA 愛知厚生連 足助病院 看護師）
10. 司会：神田 すみれ（愛知県立大学多文化共生研究所 研究員）
11. 参加者数：23名（一般）

【概要】

〔基調講演〕社会的決定要因と多文化共生

講師：早川 純午 氏（名南ふれあい病院 医師）

〔事例報告〕

・「4A1Qな地域ヘルスケアシステムづくり フィリピン リサール州タナイ町」

高田 弥生 氏（アジア保健研修所）

・「地域における住民の支え合いと健康づくりの取り組み」

岩本 里美 氏（JA 愛知厚生連 足助病院 看護師）

〔パネルディスカッション〕

樋口 倫代 氏（Bridges in Public Health 代表）による進行のもと、講師・登壇者と参加者で意見交換がされ、議論が深められた。

【セミナー運営の様子】



【セミナー運営の様子】



令和2年度 地域連携事業 実施結果④

1. 事業名称：愛知県立大学公開シンポジウム「世界展開する海外日本研究者に学ぶ」
大航海時代のキリシタン文学—グローバル社会の形成に果たした日本の役割—
2. 事業種別：共催
3. 申請者：中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科 教授）
4. 主催：日本文化学部
5. 開催日時：令和2年10月14日（水） 14:00～17:00
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講師：パトリック・シュウェマー 氏（武蔵大学人文学部 准教授）
8. パネリスト：南郷 晃子 氏（神戸大学国際文化研究推進センター 協力研究員）
服部 光真 氏（元興寺文化財研究所 研究員）
9. コメンテーター：中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科 教授）
10. 参加者数：157名（一般・学生）

【概要】

〔基調講演〕

排耶書に見られるキリシタン知識の伝承 否定という受容

パトリック・シュウェマー氏（武蔵大学人文学部 准教授）

〔シンポジウム〕

『吉利支丹物語』へのアプローチ

—「異」を読む、「異」から読む

三宅宏幸准教授（愛知県立大学日本文化学部）による
司会のもと、パネリストからの報告後、講師・コメンテーターとともに江戸時代初期の「異」文化への、あるいは「異」文化からの視点について議論した。

【シンポジウムの様子】



【チラシ】

愛知県立大学公開シンポジウム
世界展開する海外日本研究者に学ぶ

大航海時代のキリシタン文学

—グローバル社会の形成に果たした日本の役割—

日時 2020年10月14日（水）14:00-17:00
オンライン開催（Zoom）参加費無料（定員100名）

参加方法 本学地域連携センターウェブサイト（<http://www.bur.nishi-pu.ac.jp/renkei/>）にアクセスいただき、「世界展開する海外日本研究者に学ぶ」より所定の申込メールフォームに情報をご入力ください。

■ 開会の辞：大塚 美二（愛知県立大学日本文化学部長 教授）
■ ごあいさつ：久富末廣路（愛知県立大学 学長）

■ 基調講演
排耶書に見られるキリシタン知識の伝承 否定という受容
パトリック・シュウェマー（武蔵大学人文学部 准教授）
私は大航海時代（16～17世紀）の日本周辺における言葉と著作の政治史を研究しています。現在、人間文化環境が急速に変化を遂げており、世界が広がっています。グローバル社会の形成に日本が中心的な役割を果たした時代へと歴史の脈を、世界を振り返ります。

■ シンポジウム 司会：三宅 宏幸（愛知県立大学日本文化学部 准教授）
『吉利支丹物語』へのアプローチ —「異」を読む、「異」から読む
南郷 晃子（神戸大学国際文化研究推進センター（Promis）協力研究員）
服部 光真（元興寺文化財研究所 研究員）
（コメンテーター）
中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部 教授）
後崎 智央（愛知県立大学国際文化研究科日本文化専攻博士前期課程）

シュウェマー氏と南郷氏、服部氏は、キリシタン文学やキリシタン書を課題とする研究会を行っています。文学・歴史学など異なる専門分野を持つ者たちが共同で「異」文化への理解と研究の推進を図る研究会の活動、果たした成果を、記念講演『吉利支丹物語』の読解を中心に紹介いただき、そこから見える江戸時代初期の「異」文化への、あるいは「異」文化からの視点について議論し、大航海時代の日本について考えます。

主催：愛知県立大学日本文化学部
共催：愛知県立大学地域連携センター
愛知県立大学国際文化研究科 研究支援・国際連携課
TEL 0561-70-6843 FAX 0561-64-1104
E-mail: renkei@bur.nishi-pu.ac.jp

愛知県立大学
AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY
愛知の未来を
つくる。未来を。
愛知大学文化センター
AICHI University Cultural Center

令和2年度 地域連携事業 実施結果⑤

1. 事業名称：学習・生活支援事業の論点：教育と福祉の〈協調〉と〈対立〉
2. 事業種別：共催
3. 申請者：野田 博也（愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 准教授）
4. 主催：生涯発達研究所
5. 開催日時：令和2年10月28日（水） 13：00～15：00
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 登壇者：山田 恭平 氏（特定非営利活動法人 こどもNPO 副理事長）
大貫 守（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 准教授）
野田 博也（愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 准教授）
寺谷 直輝（愛知県立大学人間発達学研究所博士後期課程）
8. 参加者数：60名（一般・学生）

【概要】

本講座では、「学習・生活支援事業の論点：教育と福祉の〈協調〉と〈対立〉」をテーマとして、愛知県名古屋市で当該事業を担いながら積極的に社会的発信を行う団体の職員（役員）による現場報告をもとに、当該事業の制度・政策状況の解説、障害を抱える者の学習・教育に関わる実践報告を踏まえ、教育と福祉にまたぐ論点について議論を深めた。

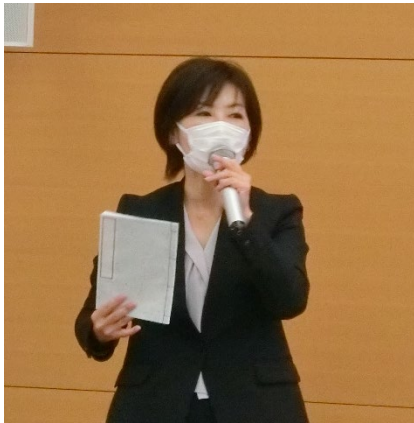
【講座運営の様子】



令和2年度 地域連携事業 実施結果⑥

1. 事業名称：和装本講座
2. 事業種別：共催
3. 申請者：中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科 教授）
4. 主催：日本文化学部
5. 開催日時：令和2年11月4日（水） 14：00～17：00
6. 会場：長久手キャンパス 小ホール
7. 講師：林 知左子 氏（愛知県西尾市岩瀬文庫）
8. 参加者数：23名（一般・学生）

【講師による説明】



【チラシ】



【参加者と完成した和装本】



令和2年度 地域連携事業 実施結果⑦

1. 事業名称：連続セミナー「多文化共生を促進する地域・社会的連携の取り組み」
第2回「With コロナ」時代の労働市場と外国人材の育成
2. 事業種別：共催
3. 申請者：小池 康弘（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授）
4. 主催：多文化共生研究所
5. 共催：愛知県立大学地域連携センター
6. 開催日時：令和2年11月8日（日） 13：30～16：30
7. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
8. 講師：本庄 俊和 氏（愛知県政策企画局国際課 課長補佐）
9. 登壇者：阿部（董） 夢（愛知県立大学多文化共生研究所 客員共同研究員）
上田 崇仁 氏（南山大学人文学部日本文化学科 教授）
CAO THO（カオ トー） 氏（星城大学経営学部）
川田 成良 氏（中央工機株式会社人事部 部長）
10. 参加者数：16名（一般）

【概要】

〔基調講演〕愛知県の留学生施策～留学生の地域定着・活躍促進を目指して～

講師：本庄 俊和 氏（愛知県政策企画局国際課 課長補佐）

〔事例報告〕・「留学生の進路調査の結果とコロナ禍による就職活動への影響」

阿部（董） 夢（愛知県立大学多文化共生研究所 客員共同研究員）

・「これからの日本語教員養成・日本語教師が担う役割」

上田 崇仁 氏（南山大学人文学部日本文化学科 教授）

・「コロナ禍を経験した私の日本での就職活動」

CAO THO（カオ トー） 氏（星城大学経営学部）

・「労働市場の変化と外国人材に期待すること」

川田 成良 氏（中央工機株式会社人事部 部長）

〔パネルディスカッション〕

阿部夢氏による進行のもと、講師・登壇者と参加者で意見交換がされ、議論が深められた。

【セミナー運営の様子】



令和2年度 地域連携事業 実施結果⑨

1. 事業名称：国際 HAIKU プロジェクト 詩人と俳句—俳句と詩のバイリンガリズム
2. 事業種別：共催
3. 申請者：宮崎 真素美（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科 教授）
4. 主催：文字文化財研究所
5. 開催日時：令和2年11月23日（月・祝） 13:30～15:30
6. 会場：オンライン（Zoom ミーティング）
7. 講師：九里 順子 氏（宮城学院女子大学 教授）
8. コメンテーター：坪井 秀人 氏（国際日本文化研究センター 教授）
宮崎 真素美（愛知県立大学文字文化財研究所 所長）
9. 参加者数：133名（一般・学生）

【概要】

〔基調講演〕

トレーニングと扉——克衛・犀星・夕爾

九里 順子 氏（宮城学院女子大学 教授）

〔ディスカッション〕

講師とコメンテーターによる三者による
討議を展開した。

【チラシ】

愛知県立大学文字文化財研究所事業 2020
国際 HAIKU プロジェクト

詩人と俳句

—俳句と詩のバイリンガリズム

日時 2020年11月23日（月・祝）13:30～15:30
オンライン（Zoom）

基調講演 九里 順子氏（宮城学院女子大学教授）
「トレーニングと扉——克衛・犀星・夕爾」

コメント 坪井 秀人氏（国際日本文化研究センター教授）

討論 九里 順子×坪井秀人×宮崎真素美（愛知県立大学文字文化財研究所長）

参加方法 本学地域連携センターウェブサイト（<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/>）にアクセスいただき、「国際HAIKUプロジェクト」より所定の中込メールアドレスに情報をご入力ください（定員に限り次第、募集は終了します）。

お問い合わせ先 愛知県立大学学生会館1522-3
愛知県立大学学術情報部 研究支援・地域連携課
TEL:0561-76-8843 FAX:0561-64-1164
E-mail:renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

主催：文字文化財研究所
共催：地域連携センター

愛知県立大学
国際日本文化研究センター
愛知県立大学学生会館

【ディスカッションの様子】



令和2年度 地域連携事業 実施結果⑩

1. 事業名称：第3回 国際セミナー 2020年の世界情勢 新型コロナと世界
2. 事業種別：主催
3. 申請者：奥野 良知（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授）
4. 主催：愛知県立大学地域連携センター
（OKB 大垣共立銀行との「産学連携に関する協定」に基づく連携事業）
5. 開催日時：令和2年11月29日（日） 13:00～15:15
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 登壇者：加藤 直人氏（中日新聞・東京新聞 論説委員）
伊藤 健太郎氏（OKB 大垣共立銀行 海外事業推進部 調査役）
鮎京 正訓（愛知県公立大学法人 理事長）
奥野 良知（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授）
奥田 泰広（愛知県立大学外国語学部英米学科 准教授）
8. 司会：鈴木 隆（愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授）
9. 参加者数：56名（一般）

【セミナーの様子】



【チラシ】

愛知県立大学
Aichi Prefectural University

OKB 大垣共立銀行

第3回 国際セミナー
2020年の世界情勢 新型コロナと世界

新型コロナの影響を踏まえて、2020年の世界情勢と今後の展望について、加藤直人氏（中日新聞論説委員）と伊藤健太郎氏（OKB大垣共立銀行調査役）、本学教員から20分ずつの報告と質疑応答を行います。

テーマおよび講師陣（順番は入れ替わる場合があります）

1. EU離脱後のイギリスと「グローバル・ブリテン」構想
奥田 泰広氏（愛知県立大学外国語学部 准教授）
2. カタール・ニヤ・スペイン問題：要因、国際問題化、コロナ禍での展開
奥野 良知氏（愛知県立大学外国語学部 教授）
3. 東南アジア法の現在
鮎京 正訓氏（愛知県公立大学法人 理事長）
4. ベトナムの最新投資環境事情
伊藤 健太郎氏（OKB大垣共立銀行海外事業推進部 調査役）
5. 香港の民主界の強権中国
加藤 直人氏（中日新聞・東京新聞 論説委員）

司会：鈴木 隆氏（愛知県立大学外国語学部 准教授）

令和2年度 地域連携事業 実施結果⑪

1. 事業名称：虐待防止・対応セミナー
2. 事業種別：共催
3. 申請者：山本 理絵（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 教授）
4. 主催：愛知県立大学生涯発達研究所
5. 共催：愛知県立大学地域連携センター
6. 開催日時：令和2年12月4日（金） 14:00～16:00
7. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
8. 登壇者：葛西 耕介（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 准教授）
水野 みち代 氏・酒井 多輝子 氏（SSW）
高木 敦子 氏（瀬戸市発達支援室長）
梅山 佐和 氏（東京学芸大学教育学部 講師）
9. 参加者数：50名（一般・学生）

【概要】

○「チーム学校」とは

葛西 耕介（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 准教授）

○連携協議会関係機関とスクールソーシャルワーカーの連携

- ・瀬戸市におけるスクールソーシャルワーカー
水野 みち代 氏（SSW）
- ・要保護対策地域連携協議会について
高木 敦子 氏（瀬戸市発達支援室長）
- ・関係機関とスクールソーシャルワーカーとの連携
酒井 多輝子 氏（SSW）
- ・スクールソーシャルワーカーが要対協メンバーとなって良かったこと

○子どもの育ちを支えるつながり～チーム学校とスクールソーシャルワーカー

梅山 佐和 氏（東京学芸大学教育学部 講師）

【チラシ】

主催：愛知県立大学生涯発達研究所
共催：愛知県立大学地域連携センター

虐待防止・対応セミナー

毎日子どもが通っている学校は、危険に気づきやすい場の一つです。虐待の防止・早期発見・対応につながる、学校・スクールソーシャルワーカーと関係機関の連携について考えましょう。

「チーム学校」とは
葛西耕介（愛知県立大学教育福祉学部）

要保護児童対策地域協議会関係機関と
スクールソーシャルワーカーの連携
高木敦子（瀬戸市家庭児童相談室）
瀬戸市スクールソーシャルワーカー

子どもの育ちを支えるつながり
～チーム学校とスクールソーシャルワーカー～
梅山佐和（東京学芸大学教育学部）

【日時】
12月4日（金） 14:00～16:00

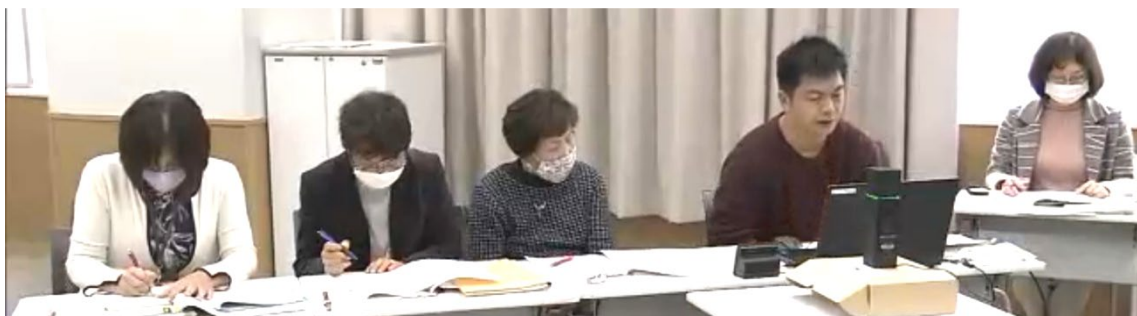
【開催形態】 zoomで配信

【定員】 70名

【申込先】
愛知県立大学地域連携センター（ウェブサイト特設ページ）
締め切り：11月2日（金）（定員に達した時点で締め切ります）

申込ページはこちら

※本セミナーは特定非営利活動法人愛知発達支援機構（全日本発達障害者の権利向上のための結核プロジェクト）主催・実施されています。



令和2年度 地域連携事業 実施結果⑫

- 事業名称：《災害と文化財》シリーズ5周年シンポジウム
「地域の文化財ネットワークを考える—瀬戸・長久手・豊田エリア—」
- 事業種別：共催
- 申請者：大塚 英二（愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科 教授）
- 主催：愛知県立芸術大学・愛知県立大学日本文化学部
- 共催：愛知県立大学地域連携センター
- 開催日時：令和2年12月6日（日） 13:00～15:30
- 会場：S201／オンライン（Zoom ウェビナー）
- 講師：村田 眞宏 氏（豊田市美術館 館長）
- 発表者：大塚 英二（愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科 教授）
阪野 智啓（愛知県立芸術大学美術学部日本画専攻 准教授）
- 討論会座長：北田 克己（愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所 所長）
- 参加者数：82名（一般・学生）（Zoom：57名 会場：25名）

【概要】

〈基調講演〉災害にそなえる 情報とネットワーク

村田 眞宏 氏（豊田市美術館 館長）

〈2大学取組み発表〉

大塚 英二（愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科 教授）

阪野 智啓（愛知県立芸術大学美術学部日本画専攻 准教授）

〈討論会〉地域ネットワークと大学の関わり

北田 克己 所長（愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所）を
座長に村田氏、大塚教授による討論会のあと、質疑応答では参加者から様々な質問・意見が寄せられた。

【チラシ】



【シンポジウムの様子】



令和2年度 地域連携事業 実施結果⑬

1. 事業名称：インドネシア現地経済事情講習会
～新型コロナ禍のインドネシア経済とオムニバス法～
2. 事業種別：主催
3. 申請者：小座野 八光（愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授）
4. 主催：愛知県立大学地域連携センター
5. 共催：東南アジア学会
6. 開催日時：令和2年12月11日（金） 18:30～20:10
7. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
8. 講師：松井 和久 氏（愛知県立大学客員共同研究員）
9. 参加者数：31名（一般）

【講習会の様子】



【チラシ】

愛知県立大学 ミニ公開講座

つながる、底力
Teamwork. Strength.

インドネシア現地経済事情講習会
新型コロナ禍のインドネシア経済と
オムニバス法

日時 2020年12月11日（金）
18:30～20:00（受付開始18:00～）

形式 オンラインZoom開催
※対面式会場はありませんので、ご注意ください。

講師 愛知県立大学 客員共同研究員
元JETROアジア経済研究所主任研究員
松井和久 氏

■ 募集期間 | 2020年12月4日（金）まで

■ 申込方法 | いずれかの方法でお申込みください。

① 愛知県立大学 地域連携センターWeb申込みシステム
<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/>

② メール
 メールタイトルを「インドネシア現地経済事情講習会」とし、
 氏名（ふりがな）、メールアドレスを記載して、renkei@bur.aichi-pu.ac.jp
 宛てに送信してください。

【問い合わせ】
 愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
 〒480-1198 愛知県長久手市茨ケ廻1522番3
 メール: renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

令和2年度 地域連携事業 実施結果⑭

1. 事業名称：連続セミナー「多文化共生を促進する地域・社会的連携の取り組み」
第3回「障害者権利条約と多文化共生」
2. 事業種別：共催
3. 申請者：小池 康弘（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授）
4. 主催：多文化共生研究所
5. 共催：愛知県立大学地域連携センター・NPO法人 地域と協同の研究センター
6. 開催日時：令和2年12月20日（日） 13:00～16:30
7. 会場：オンライン（Zoom ミーティング）
8. 講師：鈴木 清覚 氏（社会福祉法人ゆたか福祉会 理事長）
9. 報告者：篠原 豊郷 氏（社会福祉法人ゆたか福祉会 生活サポートセンター名倉）
アンドレア・カールソン（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 准教授）
宇川 賢彦 氏（社会福祉法人ゆたか福祉会 事務長）
10. 司会：神田 すみれ（愛知県立大学多文化共生研究所 研究員）
11. 参加者数：68名（一般）

【概要】

〔基調講演〕鈴木 清覚 氏「社会的決定要因と多文化共生」

〔事例報告〕

- ・篠原 豊郷 氏「重度心身障がいのある児童の学ぶ権利と地域の役割」
- ・アンドレア・カールソン准教授「多様な背景やアイデンティティを持つ子ども・若者のメンタルヘルスと受け入れ社会におけるウェルビーイング」

〔パネルディスカッション〕

講師・報告者に金城ナヤラ ナツミ氏（ブラジル友の会 理事）が加わり、参加者で意見交換がされ、議論が深められた。

〔取組報告〕

宇川 賢彦 氏「ベトナム・フエでの人材交流と提携の取組」



令和2年度 地域連携事業 実施結果⑮

1. 事業名称：もっと知りたいインドネシア語講座（初～中級）
2. 事業種別：主催
3. 申請者：小座野 八光（愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授）
4. 主催：愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年1月26日（火）～30日（金） 各日18：30～20：30
6. 会場：オンライン（Zoom ミーティング）
7. 講師：高地 薫氏
（神田外語大学外国語学部専任講師・愛知県立大学客員共同研究員）
8. 参加者数：15名（一般）

【講習会の様子】



【チラシ】

愛知県立大学 ミニ公開講座

もっと知りたいインドネシア語講座

インドネシア語の構造についての最低限の知識を、例文練習で無駄なく学びます。

取っ付きにくいインドネシア・日本語辞典を使えるようにし、現地生活を学びの場に一案させることが、この講習の目標です。

既習者・リピーターにも配慮したカリキュラムになっています。

日時 令和3年 1月26日(火)～29日(金)
18：30～20：30 ※4日連続の集中講座です。

場所 オンライン（Zoom）開催
※対面式会場はありませんので、ご注意ください。
PDF化したテキストを準備します。

講師 高地 薫氏
神田外語大学 外国語学部 専任講師・愛知県立大学 客員共同研究員

■ 募集期間 | 2021年1月22日（金）まで

■ 申込方法 | いずれかの方法でお申込みください。

① 愛知県立大学 地域連携センターWeb申込みシステム
<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/>

② メール
メールタイトルを「基礎インドネシア語集中講座」とし、氏名（ふりがな）、メールアドレスを記載して、renkei@bur.aichi-pu.ac.jpあてに送信してください。

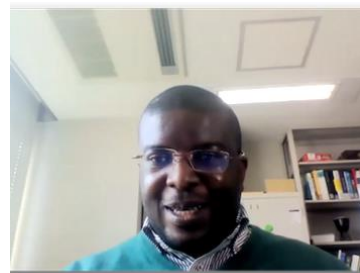
【問い合わせ】
愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
〒480-1198 愛知県長久手市茨ケ廻間1522番3
メール：renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

令和2年度 地域連携事業 実施結果⑪

1. 事業名称：フランス語圏アフリカ研究セミナー
2. 事業種別：共催
3. 申請者：亀井 伸孝（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
4. 主催：多文化共生研究所
5. 共催：愛知県立大学地域連携センター・日本アフリカ学会中部支部
6. 開催日時：令和3年3月22日（月） 10：00～12：10
7. 会場：オンライン（Zoom）
8. 講師：Jean-Claude Maswana 氏（立命館大学経済学研究科 教授）
9. 報告者：Christian Otchia 氏（名古屋大学大学院国際開発研究科 准教授）
Francia Randriatiana 氏
（名古屋大学大学院国際開発研究科 博士後期課程）
10. 参加者数：30名（一般）

【概要】

Jean-Claude Maswana 氏による招待講演、2件の報告の後、この3件について議論を行った。Zoomのチャット欄と口頭発話の二つの方法を併用して質疑応答を行い、おもに経済学と教育学の分野に関わるフランス語圏アフリカ研究の交流と発信を行った。



左から：Jean-Claude Maswana、Francia Randriatiana、Christian Otchia の各氏

令和2年度 地域連携事業 実施結果⑩

- 事業名称：連続セミナー「多文化共生を促進する地域・社会的連携の取り組み」
第4回「多文化共生とウェルビーイング」
- 事業種別：共催
- 申請者：小池 康弘（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授）
- 主催：多文化共生研究所
- 共催：愛知県立大学地域連携センター・NPO法人 地域と協同の研究センター
- 開催日時：令和3年3月28日（日） 13:30～16:30
- 会場：オンライン（Zoom ミーティング）
- 報告者：田中 夏子 氏（協同組合研究者／長野県高齢者生活協同組合）
樋口 倫代 氏（名古屋市立大学看護学部 教授）
／Bridges in Public Health 代表）
李 正光 氏（特定非営利活動法人 コリアンネットあいち 事務局次長）
- 司会：神田 すみれ（愛知県立大学多文化共生研究所）
／地域と協同の研究センター 研究員）
- 参加者数：38名（一般）

【概 要】

報告者3名による報告と問題提起の後、パネルディスカッションをした。Zoomのチャット機能を併用し、参加者を交えて議論をした。

【ディスカッションの様子】



【チラシ】

多文化共生を促進する地域・社会的連携の取り組み

連続セミナー 多文化共生とウェルビーイング 参加無料

3月28日（日）13:30～16:30（オンライン開催）

同じ社会に生きる人を誰も排除しない、格を尊重して確かなインクルーシブな社会を形成するためには、個人に与えられる権利と責任と社会環境に留意し、社会的環境の変化をもたすことが必要です。社会の強靱性を高め、すべての市民のウェルビーイングにつながる社会環境をどう創るか。このセミナーでは、社会的協同組合の研究者、保健医療・公衆衛生の専門家、在日コリアンの3名をパネリストとしてお迎えし、私たちがどのような多文化社会を目指すのかを参加者とともに議論します。

パネリスト

田中 夏子 氏 協同組合研究者／長野県高齢者生活協同組合
イタリアの社会的環境（社会と非社会）に関する研究や「コミュニティ環境（共生社会）モデル」や「地域福祉」を軸とした、イタリアと日本の地域福祉、ワーキング・ハイ・アウトによる事業展開を目的とした「地域福祉」を研究しています。専門領域は地域社会福祉、協同組合論、日本協同組合学、2017・2019、長野県高齢者生活協同組合理事長（2019）まで務め、現在「Vento in Terra（風と土）」を運営。

樋口 倫代 氏 名古屋市立大学看護学部 教授/Bridges in Public Health 代表
健康と社会のつながりについて研究しています。特に健康に関する資源へのアクセスをテーマにしています。臨床面として転院転院を経て、タイ・イギリスで医療福祉を学び、インドネシア、オーストラリア、フィリピンで活動しました。2009年より東京の大学で、公衆衛生やグローバルヘルスを教えるなど、一歩に近づく人（Bridges in Public Health）を立ち上げ、活動しています。

李 正光 氏 特定非営利活動法人 コリアンネットあいち 事務局次長
愛知県在住の在日コリアン。祖父が朝鮮に日本に渡り、自身も在日。愛知県立大学附属高等学校卒業後、東京の国文学研究資料館で卒業。16年間の在日生活を経て、地元の青年団体の役員を経て、10年間の活動をした。2018年12月から特定非営利活動法人「コリアンネット」の代表理事に就任。事業資金は代表理事として、法人の運営に当たっています。著書『在日コリアンと人間関係の再構築』がある。

司会・進行 神田 すみれ 愛知県立大学 多文化共生研究所／地域と協同の研究センター 研究員

お申し込み：愛知県立大学地域連携センターホームページへ
問い合わせ先：愛知県立大学 研究支援・地域連携課
メール：renkei@bu.ichi-pu.ac.jp
電話：0561-76-8843（電話での申し込みはできません）

主催：愛知県立大学 地域連携センター
共催：愛知県立大学 多文化共生研究所
特定非営利活動法人 地域と協同の研究センター

高大連携事業

令和2年度 地域連携事業 実施結果⑧

(高大連携事業)

1. 事業名称：令和2年度 第1回 愛知県立大学 世界史セミナー
「第一次世界大戦とヨーロッパ東部地域の再編」
2. 事業種別：共催
3. 申請者：久田 由佳子（愛知県立大学外国語学部英米学科 教授）
4. 主催：愛知県立大学世界史研究会
5. 開催日時：令和2年11月14日（土） 16:00～18:00
6. 会場：サテライトキャンパス／オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講師：安井 教浩 氏（常磐短期大学 教授）
8. 参加者数：29名（一般）（サテライトキャンパス：9名 Zoom：20名）

【セミナーの様子】



【チラシ】

愛知県立大学 地域連携事業
ミニ公開講座

2020年度愛知県立大学世界史セミナー 第1回 「第一次世界大戦とヨーロッパ東部地域の再編」

18世紀末のポーランド分割後、国家としてポーランドが再建されることになる20世紀初頭を中心に、第一次世界大戦後の東欧世界の再編について講演します。

日時 2020年11月14日(土) 16:00～18:00
場所 愛知県立大学サテライトキャンパス(会場定員30名)
(オンラインZoom併用開催)
名古屋市中村区名駅4丁目4-38
愛知県産業労働センター「ウインクあいち」15階

講師 常磐短期大学 教授 安井 教浩 氏 **参加費無料**

■ 申込方法！いずれかの方法でお申込みください。
(定員になり次第、申込を締め切ります。)

- ① 愛知県立大学 地域連携センターWeb申込みシステム
<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/>
- ② FAX
「世界史セミナー第1回申込」、「氏名(ふりがな)」、「
「電話番号」、「FAX番号」を記載して、
0561-64-1104 までにFAXしてください。

【問い合わせ】
愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
〒480-1198 愛知県長久手市茨ケ廻間1522番3
メール: renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

主催：愛知県立大学世界史研究会 共催：愛知県立大学地域連携センター

令和2年度 地域連携事業 実施結果⑯
(高大連携事業)

1. 事業名称：令和2年度 第2回 愛知県立大学 世界史セミナー
「第一次世界大戦後の国際科学協力体制と日本」
2. 事業種別：共催
3. 申請者：久田 由佳子（愛知県立大学外国語学部英米学科 教授）
4. 主催：愛知県立大学世界史研究会
5. 開催日時：令和3年2月20日（土） 16:00～18:00
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講師：菊池 好行（愛知県立大学外国語学部英米学科 准教授）
8. 参加者数：29名（一般）

【セミナーの様子】



【チラシ】

愛知県立大学 地域連携事業 ミニ公開講座

2020年度愛知県立大学世界史セミナー 第2回

「第一次世界大戦後の国際科学協力体制と日本」

国際純正・応用科学連合(IUPAC)設立(1919年)など、第一次世界大戦後の国際科学協力体制の再編の動きと、それが新興国日本の科学者の立ち位置に与えた影響について講演します。

INSTITUT INTERNATIONAL DE CHIMIE-SOLVAY
FONDÉ EN 1919 - 1920

【ご案内】
新型コロナウイルス感染症拡大の状況に応じて、開催方法をオンラインのみに変更する可能性があります。最新の状況については、地域連携センターWebサイトをご確認ください。

地域連携センターWebサイト

日時 2021年2月20日(土) 16:00～18:00

場所 オンラインのみの開催に変更になりました。 (会場定員30名)

講師 菊池 好行 准教授 (愛知県立大学外国語学部) **参加費無料**

■ 申込方法 | いずれかの方法でお申し込みください。
(定員になり次第、申込を締め切ります。)

① 愛知県立大学 地域連携センターWeb申込みシステム
<http://www.burakichi-pu.ac.jp/renkei/>
※上記のQRコードからアクセス可能

② FAX
「世界史セミナー第2回申込」、「氏名(ふりがな)」、「電話番号」、「FAX番号」を記載して、0561-64-1104 までにFAXしてください。

【問い合わせ】
愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ畑1522番3
メール: renkei@burakichi-pu.ac.jp

主催：愛知県立大学世界史研究会 共催：愛知県立大学地域連携センター

<地域貢献活動>

令和2年度 地域連携事業 実施結果①

1. 事業名称：「瀬戸スペイン語学習教室」支援活動
2. 事業種別：共催
3. 申請者：田村 佳子（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 教授）
4. 主催：生涯発達研究所、人間発達学研究科
5. 共催：愛知県立大学地域連携センター
6. 開催日時：令和2年4月～12月
7. 会場：瀬戸市原山台集会所
8. 参加者：児童 毎回15名前後、教室指導者（学生・院生）3名、教員2名

教室開催：6月、7月、9月、10月、11月、12月 合計23回

※4月から毎週実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
実施期間を変更した。

打合せ・教材作成：4月、5月、8月、10月 合計12回

【活動の様子】



令和2年度 地域連携事業 実施結果②

1. 事業名称：年金対話集会
2. 事業種別：共催
3. 申請者：中尾 友紀（愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 准教授）
4. 主催：厚生労働省年金局
5. 共催：愛知県立大学地域連携センター
6. 開催日時：令和2年12月9日（水）14：00～16：00
7. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス 小ホール
／オンライン（Zoom ミーティング）
8. 参加者：学生19名 厚生労働省年金局職員4名

【概要】

社会福祉学科の学生と厚生労働省年金局の職員が、年金をテーマに対話集会を開催した。
新型コロナウイルス感染症対策として、年金局の方はオンライン（Zoom ミーティング）で参加し、学生は小ホールで間隔をとって着席し、一般参加の募集はしなかった。

〔第1部〕講義

「わたしの年金とみんなの年金」と題し、年金局年金課長から年金制度や年金財政の仕組み等について講義を受け、質疑応答が行われた。

〔第2部〕意見交換

学生を2グループに分け、年金局総務課年金広報企画室の若手職員と座談会方式で意見交換を行った。

【第1部の様子】



【第2部の様子】



令和2年度 地域連携事業 実施結果③

1. 事業名称：愛知県立大学国際関係学科「旅の写真展」
2. 事業種別：共催
3. 申請者：亀井 伸孝（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
4. 主催：愛知県立大学国際関係学科「旅の写真展」実行委員会
5. 共催：愛知県立大学地域連携センター
6. 開催日時：令和2年11月3日（火）～11月30日（月）
7. 会場：名古屋市営地下鉄「東山公園」駅コンコース

【概要】

国際関係学科2・3年次選択専門科目「プロジェクト型演習A：写真・映像による調査と表現」の履修生を中心に、学科学生有志の参加を得て、毎年秋の恒例の写真展を実施した。新型コロナウイルス感染症の流行で、留学や旅行がしにくい時期に当たったものの、手持ちの写真の中から自信作を持ち寄り、また、国内の近隣地域での撮影活動を進めることによって、今回の企画が実現した。最終的に、21人による7か国（日本、フィリピン、ベトナム、タイ、チェコ、メキシコ、オーストラリア）で撮影された作品52点を公開展示した。

【写真展の様子】



【集合写真】



5. 自治体等との連携

(1) 愛知県

あいち認知症パートナー大学

平成 29 年に愛知県が策定した「あいちオレンジタウン構想第 1 期アクションプラン」に基づき、愛知県とともに認知症に理解の深いまちづくりに「じぶんごと」として取り組む大学として、平成 30 年に「あいち認知症パートナー宣言」をし「あいち認知症パートナー大学」として登録されました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながら認知症の方々やご家族をどのように支援できるのか、学生や行政、地域の方々と共に考え取組みを行いました。

○認知症カフェ「喫茶オレンジ」

- ・平成 30 年度から長久手市社会福祉協議会による長久手の認知症カフェ「喫茶オレンジ」の運営に協力しています。今年度は運営会議を 10 回開催し、教員 1 名が参加して、長久手市および長久手市社会福祉協議会と意見交換を重ねながら、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながらどのように運営するか、学生が継続して参加できる仕組みを含め検討しました。
- ・飲食は控え、十分な間隔が保てるように机や座席を配置し、検温、消毒、マスクの着用等対策を十分に行ったうえで、認知症カフェを 9 回開催しました。11 月から「喫茶オレンジ」の会場中に Zoom を利用したオンラインカフェ・コーナーを設置し、学生延べ 6 名、教員 2 名、職員延べ 3 名がリモートで参加しました。



【認知症カフェ「喫茶オレンジ」の様子】

○オレンジ本棚

令和元年度から引き続き、学術研究情報センター長久手キャンパス図書館内に「オレンジ本棚」（認知症関連図書コーナー）開設しました。

<https://www.aichi-pu.ac.jp/library/tenji.html>

○「認知症高齢者の災害時支援に関する愛知県と愛知県立大学との連携と協力に関する協定」を締結

2020 年 12 月に策定した「あいちオレンジタウン構想第 2 期アクションプラン」に基づき、地域における認知症高齢者の災害時支援体制の構築に資する取組を愛知県と本学が緊密に連携・協力し、実施するための協定を 2021 年 3 月 24 日に締結しました。

わくわく体験リニモツアーズ 2020 秋 実施結果

1. 日 時：令和2年10月17日（土）10：30～11：30
2. 会 場：長久手キャンパス K 棟 小ホール
3. 参加者数：27名（小学生13名、未就学児3名、保護者11名）
スタッフ学生 6名（子どものひろば）
4. 主 催：東部丘陵線連絡協議会（愛知県・名古屋市・瀬戸市・豊田市・日進市・長久手市） 事務局：愛知県都市整備局交通対策課
5. 共 力：愛知高速交通株式会社／愛知県陶磁美術館／介助犬総合訓練センター～シンシアの丘～／愛知県立大学（サークル「子どものひろば」）／もりの学舎／愛知工業大学
6. 概 要：リニモの利用促進と沿線の活性化を推進するため、小学生とその保護者を対象とした体験講座をリニモ沿線施設で開催する。本学では、子どものひろばによる工作教室を開催し、「紙コップフリスビー」または「紙コップみの虫」の工作体験を提供した。
7. 会場の様子：

【ワークショップの様子】



【ワークショップの様子】

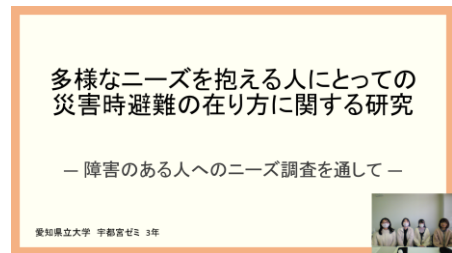


【フリスビーを飛ばす様子】



「愛知県地域づくり活動フォーラム」 実施結果
(愛知県との共催)

1. 日 時：令和3年2月19日（金） 13：30～15：30
2. 会 場：オンライン（Zoom ウェビナー）
3. 参加者数：66名（市町村職員、一般等）
4. 主 催：愛知県、愛知県地域づくり団体交流協議会（※）、愛知県立大学
※県内地域づくり団体相互間の交流の推進や地域づくり団体への情報提供を
目的として平成6年に県が設立
5. 共 催：愛知県交流居住センター（※）
※愛知県の三河山間地域の活性化を目指し、平成20年に県が三河山間地域6
市町村や関係団体とともに設立
6. 当日のプログラム：
 - ①愛知県立大学学生グループによる活動発表（録画での配信）
テーマ「多様なニーズを抱える人にとっての災害時避難の在り方に関する研究
―障害のある人へのニーズ調査を通して―」
発表者 愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科
宇都宮ゼミ 3年生 大場あみ
尾林若奈
加藤真菜
佐藤二葉
山本真永美
 - ②講演「敷島自治区の取り組み～キーワードは移住～」
講師：鈴木 辰吉 氏（敷島自治区プラン推進委員）
 - ③講演「移住者受け入れで地域は甦る～空き家活用のすすめ～」
講師：安藤 征夫 氏（敷島自治区定住促進部員）
 - ④質疑応答・トークセッション
コーディネーター：加藤 栄司 氏（愛知県交流居住センター 事務局長）
7. 会場の様子：



【トークセッションの様子】



(2) 長久手市

長久手市大学連携推進協議会への参加について

長久手市と市内 4 大学（愛知県立芸術大学、愛知医科大学、愛知淑徳大学、愛知県立大学）は、まちづくりにおいて、大学が有する知的資源や特色を活かし、学術研究の場や機会を大学に提供するなど、相互の発展や充実に向けて組織的な連携を深めることにより、「人が輝き 緑があふれる 交流都市」としてふさわしい地域社会づくりに資することを目的として、平成 24 年 12 月 20 日に長久手市大学連携推進協議会を設置しました。

平成 30 年 3 月には、長久手市において「長久手市大学連携推進ビジョン 4U」が策定され、長久手市内 4 大学とその学生・市民・企業などとの地域プラットフォームを築いて最大限の相乗効果を発揮させるための仕組みづくりを進めています。

本協議会の主旨に基づき、令和 2 年度は以下の事業を実施いたしました。

○協議会の開催（部長級により組織）

第 1 回 令和 2 年 8 月 25 日（火） オンライン開催

第 2 回 令和 3 年 3 月 25 日（木） オンライン開催

○ワーキングの実施（オンライン開催）

愛知淑徳大学 令和 2 年 12 月 5 日（土）・13 日（日）・19 日（土）

「学べる！遊べる！楽しめる！オンライン長久手子ども食堂
～コロナで会えないけど、大学生から愛を届けたい～」

令和 2 年 3 月 27 日（土）

「学べる！遊べる！楽しめる！オンライン長久手子ども食堂
おうちでフェアトレードを学ぼう！」

愛知県立大学 令和 2 年 12 月 13 日（日）

「リニモと観光、まちづくりを考える」

愛知医県立芸術大学 令和 3 年 1 月 28 日（木）

「町づくりのデザイン」

愛知県立芸術大学 令和 3 年 2 月 6 日（土）

「災害時のトリアージ・応急手当を楽しく学ぼう」

報告会&ごちゃまぜワークショップ 令和 3 年 2 月 23 日（火・祝）

○公開授業

令和 2 年 11 月 25 日（水） 愛知医科大学「学制に学ぶ救急蘇生法」

○その他関係各課からの依頼の窓口業務

長久手市大学連携 4U ワーキング
「リニモと観光、まちづくりを考える」実施結果

1. 開催日時：令和2年12月13日（日）14：30～16：30
2. 開催場所：長久手市役所／オンライン（Zoom ミーティング）
3. 参加者数：37名（一般市民、4大学学生・教職員）（Zoom：35名 会場：2名）
4. 講師：松宮 朝（愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 准教授）
島田 善規 氏（リニモねっと 代表）
濱 雄亮 氏（東京交通短期大学 准教授）
5. 実施内容：① 事業説明
松宮 朝（愛知県立大学教育福祉学部 准教授）
② 講演「リニモと、まちづくり・観光の考え方」
島田 善規 氏（リニモねっと 代表）
③ 講演「地域と歩む鉄道：先進事例の概観とリニモのポテンシャル」
濱 雄亮 氏（東京交通短期大学 准教授）

【講師と会場の様子】



(3) 日進市・豊田市

日進市との連携事業

○令和2年度提案型大学連携協働事業

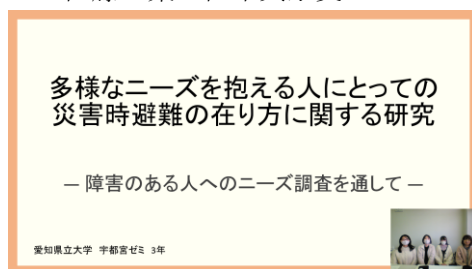
1. 事業名：多様なニーズを抱える人にとっての災害時避難の在り方に関する研究
—障害のある人へのニーズ調査を通して—
2. 申請者：宇都宮 みのり（愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 教授）
3. 期 間：令和2年7月28日～令和3年2月26日
4. 概 要：

宇都宮教授とゼミ生によって、日進市内障害者通所施設の利用者を対象にアンケート調査を実施し、災害時避難に関する不安、意見等を収集し、障害者が避難行動を選択する上で必要な情報を整理した。それらを報告書としてまとめ、日進市に今後の防災の取組に関する提言を行うとともに、障害のある人を対象とする防災パンフレットを作成し、啓発のために配布した。

また、愛知県主催「愛知県地域づくり活動フォーラム」において、ゼミ生による活動報告をした。

【愛知県地域づくり活動フォーラム】

発表者 愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科
宇都宮ゼミ 3年生
大場あみ・尾林若奈・加藤真菜
佐藤二葉・山本真永美



【防災パンフレット】



豊田市との連携事業

豊田市公開講座共催に申請し、以下のとおり採択された。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を考慮し、中止とした。

1. 事業名称：とっさの英会話、とっさの異文化マナー
2. 申請者：秋田 貴美子（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 准教授）
3. 開催日時：令和2年8月30日（日）10：00～12：00
4. 会場：豊田市 保見交流館

(4) 他大学等

愛知工業大学 学生連携事業「防災カフェ」実施報告

1. 日 時：令和2年12月16日(水) 13:00~14:30
2. 開催方法：Zoom
3. 主 催：愛知工業大学 地域防災研究センター
4. 企 画：愛知工業大学 学生サークル「かまどベンチーズ」
5. 協 力：日本赤十字社愛知県支部、名古屋地方気象庁
6. 参加者数：合計22名

《イベント参加者》計8名

愛知県立大学学部生3名、愛知工業大学学部生2名、愛知工業大学院生1名、
中央大学学部生1名、法政大学院生1名

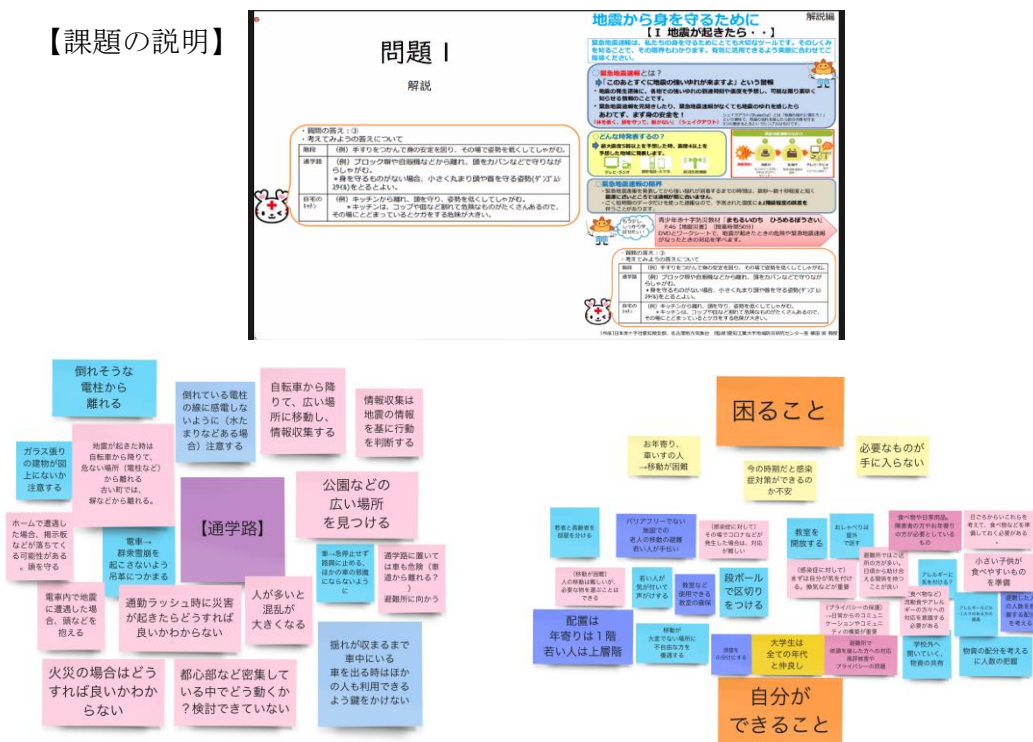
《運営者》計8名

愛知工業大学学部生5名、愛知工業大学職員3名

《オブザーバー》計6名

愛知工業大学教授1名、日本赤十字社1名、名古屋地方気象台1名、
百年防災社(愛知工業大学卒業生)2名、愛知県立大学職員1名

7. 概 要：小学生向けに作成された防災学習教材「ちょこっと防災～地震編」を基に、
①通学路で地震がおきたらどうするか？②自分の学校が避難場所になったら、どんな不便なことが起こるか？の2つのテーマについて議論した。
参加学生はZoomのブレイクアウトルームで2グループに分かれて討論し、ブレインストーミング用ソフトmiroを使用して意見をまとめ発表した。
8. 意見交換の様子：



LINKtopos2020（全国公立大学学生大会） 実施結果
（公立大学協会）

1. 日 時：令和2年9月26日（土）13：00～18：00
令和2年9月27日（日）10：00～16：00
2. 会 場：長久手キャンパス K 棟 小ホール・文化交流室A（オンライン）
3. 参加者数：一日目8名・二日目8名（学生・教員）
4. 主 催：公立大学学生ネットワーク
5. 共 催：一般社団法人公立大学協会
6. 概 要：公立大学学生ネットワークは2011年の東日本大震災を契機として発足。
年1回、LINKtopos（全国公立大学学生大会）を開催し、災害支援・防災に
留まらず、地域活動を行っている学生が全国から集まり、ワークショップ等
を通じて研鑽・交流を図る。（2020年度は21校、75名参加）
7. プログラム：
 - ・発表 下原・砂古自主防災組織 川田一馬 副本部長
総社市危機管理室 平田泰介 主任
 - ・ワークショップ「地域の共通課題を克服する企画書づくり」
 - ・地区別 LINKtopos
 - ・ポスターセッション質疑応答
8. 会場の様子：

【ワークショップの様子】



【ワークショップの様子】



【地区別 LINKtopos の様子】



【ポスターセッションの様子】



6. 参考資料

○地域連携センター ウェブサイト

ウェブサイトアドレス <http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei>



地域連携センターの概要や活動報告、これから開催する講演会、講座等の情報を PC 版及びスマートフォン版で提供しており、申込が必要な講座については、申込手続を円滑に行って頂けるよう、講座申込フォームも開設しています。

今後も、より見やすく、分かりやすく講座情報等を提供するため、更なる内容の充実や利便性向上に努めてまいります。

当センター年報のアーカイブや地域連携研究シーズ集を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

➤ 年報

<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/annualreport/index.html>



➤ 地域連携研究シーズ集

<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/staff/index.html>



令和 3 年 3 月発行

編集・発行 愛知県立大学地域連携センター

愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3

電話:0561-76-8843

<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei>